

て、平成18年度より事業に着手、平成27年度の供用開始を目標に進めている。

用地買収の進捗状況は、平成20年度より用地買収を開始し、8月26日現在、地権者進捗率は74%。筆数進捗率は約73%。買収面積進捗率が73%。

残り52名の地権者は、相続や境界、代替地、抵当権等の問題を抱えている者が多数を占めているが、再度、問題の本質を精査し見極めて、徹底した個別訪問を行い、一日でも早く契約が締結できるよう、用地買収を完了させるため最大限の努力をしていく。工事については、茨城県と年次計画をたてて昨年度より実施している。

工事スケジュールとしては、軟弱地盤改良及び県道取手豊岡線より順次施工していく予定。

今年度は、小谷沼土地改良区内の北側部の盛土及び県道取手豊岡線からの進入路を確保するための改良工事を実施。

来年度以降は、小谷沼土地改良区内南側部の盛土として、南側から順次改良工

事を実施し、最終年度にアスファルト舗装を全線にわたり施工し、完成させたいと計画。

供用開始されると、ご指摘のとおり、物流幹線道路としての役割が期待されるため沿線について関係部局と検討していく。

(再質問) ちょうど一年前にも質問をしたが、土地買収は今年中と聞いた。特例債事業ということで期限内の実施のためにも計画どおり進むことを望む。買収し

教育の安定のために

石川栄子議員

○学校教育について

質問 「義務教育は無償といわれているがとんでもない。入学時、部活の費用その上毎月学校に納めるお金も大変。」という保護者の声を受けて学校納付金について調査を依頼した。市内14校の小学校3年生と6年生、5校の中学校3年生の調査資料を見てみると、当然公費からの支出と思われるものまで父母負担となっていることについてどう考えているか。当市では公費

と私費の区別についてどのような基準があるのか。同じ市内の小学校なのに各学校によって負担の差が生じているがこのままでよいと考えているのか。不況・リストラ・非正規雇用等々家庭の経済状況が悪化している中で、学校納付金の滞納状況はどうなっているか。また学校納付金等納められない家庭を支援する制度として就学援助制度があるが、これまでの状況を示せ。就学援助のための予算が毎

た土地の雑草等の管理はどう考えているのか。

(再答弁) (都市建設部長) まだ52名の地権者が残っており、その中には境界の立会い拒否をしている方もいるため、今年中の完了は厳しい。問題の本質を精査し、最大限努力していく。雑草の維持管理については市で買収した土地については、早急に対応を検討する。

〈その他の質問事項〉

○広域農道・県道土浦坂東線の開通の見通しについて。

年不用額を生じている。これからの支援の充実を求めらる。

答弁(教育長) 学校納付金は、きめ細かな教育活動が展開できるよう各学校とも保護者の了解を得て徴収しているもので、徴収金額が学校によって違いがあるのは、教育方法や活動に違いがあるため、やむを得ないことである。

しかしながら、備品や消耗品等の経費については、精査の上、予算化に努めていきたい。

学校納付金の滞納の状況は本年7月末時点で、1年以上にわたる滞納者が15名。その額は約38万円。

就学援助の対象人数は、平成18年度526人、平成19年度550人、平成20年度571人、平成21年度576人と年々増加し、金額は各年度とも約4千万円程度である。

なお、今後も、生活困窮者を的確に把握して支援の充実を図っていく。

(再質問) 使途の中で保護者の負担にはなじまない代金。その公費・私費の区別の基準はどうか。実際には

公費負担に切り替えるべきと思う。

(再答弁) (教育長) 使途による公費・私費の区別はない。インクや用紙も児童数、生徒数を勘案して適切な予算措置をしているが、「学校だより」を頻繁に発行したり、校内美化のために花を増やすなどきめ細かな教育活動をする場合に必要なものとなる。

〈その他の質問事項〉

○保育行政について。
○シルバー人材センターについて。



五箇小学校